

(3)

協 合

第3種郵便物認可

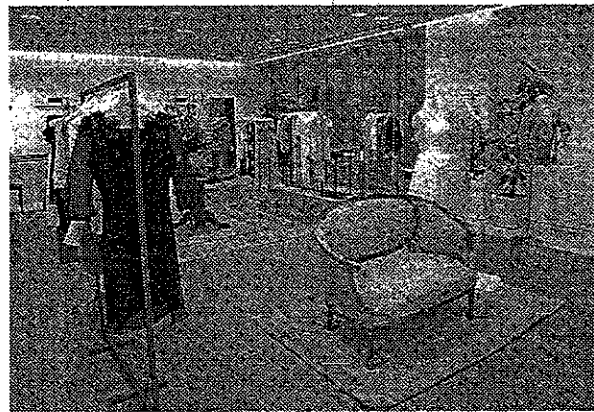
アジア・アパレルもの
づくりネットワーク

東京で初の合同展

技術力伝え拡販めざす

アジアに縫製工場を持つ企業で構成するNPO（非営利組織）法人「アジア・アパレルものづくりネットワーク」（AAP）は、設立1周年を機に21日まで東京で第1回「AAP合同展」を開いている。現在は正会員30社、協会員10社、特別会員1社の構成。AAPはアジアに縫製拠点を持つ日系企業の勝ち残りを目的に昨年発足した。評判が良ければ定期化する。

会員企業の16社が参加し中国、ベトナム、バングラデッシュ、カンボジア、ラオス、ミャンマーで生産した製品100点を提案している。製品は、13年春夏向けが中心で、アジアのリゾートホテルでの着用を想定したエレガンスカジュアルなデザインで統一した。



アジアのリゾートホテルでの着用を想定したエレガンスカジュアルなデザインで統一した

今回の展示会は、アパレル、商社、小売りと幅広い業界関係者に「各工場の技術レベルをみてもらいたい」（宮崎守オーダー・オブ・メリット・プランニング代表取締役）としており、新たな取引先の拡大につなげたい考え。

を提案している。製品は、13年春夏向けが中心で、アジアのリゾートホテルでの着用を想定したエレガンスカジュアルなデザインで統一した。展示は企業ごとで、どこで生

産したかひと目で分かるようにしたほか、iPadで工場の概要を紹介するなどの工夫をしている。アジア各国で生産したときの納期、東南アジア諸国と取引した時の関税、会員企業の工場所在を一覧にし